

## 横浜市三世代育児支援事業 実施報告書（西区）

◆企画名：「みんなで育む西区の子ども」～あたたかい心のやり取りが生まれる街～

◆実施日：平成27年3月7日（土）10:00～11:30

◆場 所：西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート

◆講 師：NPO 法人 孫育て・ニッポン 棒田明子さん

◆参加者：横浜子育てサポートシステム提供会員（西区在住）3名

横浜子育てサポートシステム提供会員希望者 1名

西区地域子育てサロン 主宰者 1名      こんにちは赤ちゃん訪問員 1名

民生委員・児童委員 2名

合計 8名

◆アンケートより（複数回答可）

・受講のきっかけ ①自分から申し込んだ（8名） ②子育て支援の活動に役立てたいと思った（3名）③ その他（棒田先生のお話が聞きたかった・拠点スタッフにすすめられた）

・講座を知ったきっかけ ①チラシ（5名）②スマイル・ポートつうしん（3名）

・講座の内容について ①大変満足した（7名）②満足した（1名）

・感想

- ・もう少し学齢期の子どもたちについての情報が聞きたいと思った。
- ・子育て支援者としての役割を改めて見直し、少しでも子どもたちも未来が幸多くなればと思います。
- ・これからもこの様な講座に多く出席したい。
- ・西区にお住まいの参加の方々のお顔とお話が伺えてよかったです。棒田先生のお話良かったです。
- ・少人数で楽しくお話でき、参考になりました。ありがとうございました。
- ・地域で子どもさんを見守っていくことの大切さを感じました。自分の周りから実践していきたいと思います。

## 講座のまとめ

- ・はじめに 棒田さんの自己紹介
- ・人間の赤ちゃんは他の動物と比較すると約10年早く生まれてくる
- ・例えば、自分で食事を作れるようになるのはいつ？学校の調理実習は5年生から
- ・スマホやタブレットで子守りをさせていませんか？（一人で遊ばせている20%・親と一緒に37%）
- ・今の30代のママ&パパは高校生の時に、すでにポケベルやケータイの世代
- ・幼児期にすでにゲーム機に接している子どもたち（5歳以下で50%）
- ・参加者の自己紹介（出身地と子どもの頃のあそび）
  - ・・・子どもの頃のあそびから当時の地域を思い出す
- ・カンケリ、かくれんぼ、おはじき、ケンケンパー、外でござをしいておままごと、駄菓子やさん  
ゴムとび、バービー人形、ベーごま、フラフープ、ホッピング、おてだま
- ・当時、地域の中で子どもたちの声が良く聞こえ、路地裏あそびの姿も多く見られた
- ・よその子どもをおんぶしていたこともある、よその子が家に遊びにきていた
- ・今は地域の中で子どもの姿をみることがない
- ・ためしにやってみたらどうか・・・打ち水、ご近所へのおすそ分けなどをきっかけに顔の見える関係へ
- ・地域社会を変えた原因は「車社会」では？・・・歩かない、ドアツードア、車庫法による路地裏の変化
- ・現在のママ達をめぐる社会状況の変化・・・夫の収入の不安定さと妻の就業、産後の里帰りの長期化
- ・ママ達は、家事も育児も大切にしたいけれど、将来の安心のために働かざるおえない状況もある
- ・まずは、向こう三軒両隣のあいさつから
- ・子ども達が幼いうちから地域を知り、地域の顔の見える関係をつくることによって、就学できるように関係作りをすすめていけたら、もっといい地域になるのではないか

